

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	コンビニ（経営者）	・国道沿いにホテルが何軒か建設中である。2、3か月後は客の数も増えて良くなる。
	変わらない	観光型ホテル（営業担当）	・西海岸のリゾートはもともと夏はオンシーズンであるが、直前の参院選に起因する旅行控えの反動も期待している。
		一般小売店〔衣料品・雑貨〕（経営者）	・客単価の前年同月比が10～15%減少の改善は厳しい状況にあるため、今後は100%確保が目標になる。基地内、地元等の観光客以外の新規マーケットへの販路拡大として当社独自でなく他社ともコラボレーションした商品開発が早急に必要と考え、進めている。
		百貨店（担当者）	・天候与件によるところが大きい。例年は6月中旬までの梅雨であるが、今年は比較的降雨量が少ないとの予想もあることから、父の日需要、かりゆしウエアなどの夏衣料が順調に推移し、比較的良好な夏商戦となる。ただし全国的な春夏衣料の不振から秋衣料の生産調整があるとの情報もあり、8月初旬の秋衣料展開時に何らかの影響があるのではと懸念する。
		スーパー（経営者）	・同業者との競争の内容に変化がみられない。
		コンビニ（エリア担当）	・スーパー、コンビニ、大型スーパーマーケットを客が上手く使い分ける傾向は今後も続く。コンビニは天候に左右されるが、大型スーパーマーケットでは雨、特に週末の雨がプラスになっている。
		コンビニ（エリア担当）	・売上に関しては下げ止まりの傾向がある。しかしこの先、天候以外に売上が増加する要素は無く、現状維持がやっとである。仮に天候が良くなっても前年並みに戻るだけで、業績が回復したことはない。
		その他専門店〔楽器〕（経営者）	・団塊の世代の沖縄観光ブーム、余暇の趣味に期待する。観光客は増加しており、外国人も増えている感がある。従来と同じ対応では厳しくなる。
		高級レストラン（営業担当）	・例年どおり、那覇地区の観光飲食店は夏場に団体客が無くなるため集客が悪く、極端に落ち込む時期となる。今年も6～8月の見込ポイントが前年同期比とあまり差が無い場合、ほぼ同等の結果となる。
観光型ホテル（商品企画担当）	・7～8月にかけては年間のピークシーズンになる。この時期に関しては前年と変わらない動きとなる。		
通信会社（サービス担当）	・今は客の財布のひもが固い時期で、判断が難しい。		
観光名所（職員）	・5月の施設利用者数の伸びからすると沖縄への入域観光客数は順調に推移し、5月の入域観光客は前年同月を上回っているものと推測される。これから沖縄は夏イベントが各地で開かれ、沖縄への入域観光客数も順調に推移する。		
やや悪くなる	衣料品専門店（経営者）	・前年同時期と比べて、来客数、販売量が減っている。単価、客単価共にあまり変わりが無いので、全体的な回遊客の少なさが気になる。	
	その他専門店〔書籍〕（店長）	・都心部への交通の利便性が格段に良くなっていて、地域の既存店で購入するよりも、商品の種類の多さや若干値が張るものでも、その場の雰囲気で購入したりする光景等が見受けられる。価格、種類の豊富さなどの点でも大型店、都心部の店にはかなわない。	
	その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・観光客の入客は順調であるが、一番大切な地元客が平日に入らない。飲酒運転対策のやり直しと、基本のサービス、美味しさ、衛生環境の改善・強化を徹底してやり直す必要がある。	
	観光型ホテル（総支配人）	・各旅行代理店の中長期の予約状況においても、前年比で10%程度の落ち込みとなっており、加えて7月の参議院議員選挙実施に伴い、旅行ニーズは減少気味になる。	
悪くなる	商店街（代表者）	・現在、中心商店街に観光客は多く、それに伴い空き店舗には観光関連の店が入るようになり、お互いに客割れを起こしている様子が見受けられる。通常の物販に関しては、大型店への客離れが起こっている。また必ずしも努力している店舗ばかりでなく、売上が減少しており大変な危機的状況にある。	
企業 動向	良くなる	-	-
	やや良くなる	-	-

関連	変わらない	建設業（経営者） 輸送業（営業・運営担当） 広告代理店（営業担当）	・問い合わせ及び引き合いの件数の動きが鈍い。 ・例年どおりのギフト商戦として一時的には物量が増えるがそれほど影響を受けるものでもない。期待できる要因は現在のところ見当たらない。 ・今月から既に景気が上向き傾向にあることから、更に上回るとは言い難い。ただ、民間企業からの販促関連受注量が拡大することは期待できないが、官公庁の、主に地域活性化関連のプロジェクトの予算を新規で獲得できれば、業界における景気活性化につながる可能性は高い。
	やや悪くなる	食料品生産業（管理部門）	・継続的な円安でコスト高をきたす。
	悪くなる	コピーサービス業（代表者）	・今後の印刷業は、大企業は別として、小企業は思いきった投資で市場を変えるくらいの商品作りをしなければやっていけない。また、市場に合う投資をしても、人材確保の面で障害が生じ、必ずしも成功するとも限らない。
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	求人情報誌製作会社（営業担当） 学校〔専門学校〕（就職担当） 学校〔大学〕（就職担当）	・失業率の改善が進んでいる傾向が見受けられる。 ・順調なIT関連企業の求人も落ち着き、これから他業種も参入し全体的に増加する見込みである。売手市場と呼ばれている採用環境である。そのため、複数の企業から内定をもらった学生の内定辞退を予想する企業もあり、1社あたりの求人数も今後増加が見込まれる。 ・県内大手・中小企業が、積極採用の姿勢が強い。観光客の入域者数の増加を見込んで、観光業も強気で採用が目立つ。
	変わらない	職業安定所（職員）	・4月の離職者数が解雇の686人を含めて7,534人、雇用保険資格取得者が6,268人で、前月より大幅に増加している。例年4月は増える傾向で、前年月末から被保険者数は漸増しているが、雇用保険資格喪失者数が雇用保険資格取得者数を20.1%、1,266人上回り前年と逆転している、景気は引き続き好調と言われるが、予断を許さない業種もある。
	やや悪くなる	-	-
	悪くなる	-	-